

BMPボードを試作

新機能素子研究開発協会
協会と電総研 18機関に評価委託

新機能素子研究開発協会
協会は電総研

一日、電子技術総合研究

型プロセッサ(BMP)

場の早稲田大学理工学部で

ソサエティー大会を開く。

基礎・境界、通信、エレク

トロニクス、情報・システ

ムの四つのソサエティーが

秋季に連合して開く講演会

で、マルチメディア社会を

支える次世代通信技術やシ

ステム技術など、研究成果

が多数発表される。

秋季講演会は各ソサエテ

ィーの独自企画で構成。情

報・システムソサエティー

は若手研究者の才能発掘な

どをねらいにアルゴリズム

コンテストを開く。両眼視

差による立体画像「ステレ

オグラム」を題材に、それ

を実現する独創的なソフト

ウェアを競わせる。

通信ソサエティーは四日

午前九時半から「大丈夫

か？情報通信の専門教育」

をテーマにパネル討論を開

く。この模様はインターネ

ットで中継される(アドレ

スはhttp://www

.ieicee.or.jp

/cs/jpn/inte

rnet/score)。

また五日後一時から「マ

ルチメディアを発展させる

アクセス系」をテーマにパ

ネル討論を開く。

を組み込んだ評価用ボード

(写真)を試作、BMPの

性能評価を始めた。発表し

た。BMPはニューラルフ

ロセッサの一種で、ボ

ードには入出力機能やメモリ

機能も搭載、パソコンに

挿入することで、評価を容

易にした。十八機関に

評価を委託した。

この研究は通産省の産業

科学技術研究開発制度に基

づいて九六年度補正予算で

取り組まれた先端研究「脳

型コンピュータ・アーキ

テクチャー」のフィジビリ

ティー研究として電総研と

共同で行われている。

BMPは百万トランジス

タからなるLSI。約二千

個の神経細胞素子を構成

し、百万結合の回路網を実

現できる。人間の脳と同様

に外部信号に反応して内部

で論理を自動獲得できるほ

か、ニューラルプロセッサ

ーで初めて時間概念を持つ

学習機構を組み込んだ。

このBMPボードにはB

MPを二個搭載。BMP二

百個まで並列動作できる。

学習機能やデータベースの

獲得、文字認識など多様な

パターンの正確な認識・職

別、滑らかな運動制御など

十九件のテーマについて十

八の研究機関に性能評価を

依頼済みで、BMPの性能

評価と応用を探っていく。

